

平成23年6月20日

独立行政法人国際協力機構第3回「協力準備調査(PPPインフラ事業)」に、 京阪電鉄他2社の共同提案「ハノイ5号線整備事業準備調査」が仮採択！

このたび、京阪電気鉄道株式会社(本社：大阪府中央区、代表取締役社長：上田成之助)は、独立行政法人国際協力機構(以下、JICA)が行う第3回「協力準備調査(PPPインフラ事業)」(注)公募(平成23年3月14日付公示、4月25日〆切)に対し、社団法人海外鉄道技術協力協会(以下、JARTS)と株式会社野村総合研究所(以下、NRI)との三者共同で、「ベトナム ハノイ5号線整備事業準備調査」について応募提案いたしましたところ、JICAによる審査の結果、6月20日付で当該調査が仮採択されました。今後、詳細提案書の提出に向けて準備を進めてまいります。

現在、東南アジア新興国の中でも、特に経済成長が著しく、都市の急激な人口増加とエリア拡大が進むベトナムでは、上下水道、道路・鉄道などの基礎的インフラが経済成長に追従しておらず、日本からのODAや世界銀行、アジア開発銀行等による支援により、その整備が進められております。首都ハノイ市内においては、特に交通渋滞が常態化する中、安全面・環境面からも鉄道建設の要望が高く、今回調査対象とする「ハノイ5号線」もその鉄道整備計画路線の一つです。

今回の提案では、弊社は、鉄道建設後の運営管理(駅サービス、運行管理から日常メンテナンス全般)を行える事業者として、日本の大手民営鉄道会社として永年培った鉄道運営管理のノウハウを、ベトナム都市鉄道の建設・運営に活かせるものと判断し、海外鉄道事業の準備調査経験が豊富で、PPPインフラ事業のスキーム作りや政府交渉等を含めた調査プロジェクトの全体取り纏めなどで実績のあるJARTSとNRIとの三社共同で行いました。

また弊社は、同事業準備調査遂行に際し、そのスキーム、現地の法律並びに市場調査等を進める上で、現地の有力企業とのパートナーシップは欠かせないと考えており、今般、ベトナムのサイゴン・インベスト・グループの中核企業であるキンバック都市開発株式会社(会長・最高経営責任者 ダン・タイン・タム氏)と、ベトナムでの事業連携関係の構築に向けた覚書を締結しました。

以上

(注) JICAが行う「協力準備調査(PPPインフラ事業)」は、PPP(Public Private Partnership)インフラ事業への参画を計画している企業等からの提案に基づき、円借款供与を念頭においたPPPインフラ事業(特に民間企業による投資を伴うインフラ事業)のための協力準備調査を当該提案企業等に委託して実施するものです。

〔参 考〕

1．ハノイ5号線計画の概要(予定)

- (1) 路線延長 延長34.5km(予定)
- (2) 区 間 西湖南側～国際会議場～Hoa Lac
- (3) 路線形態 複線電化鉄道(予定)
- (4) 軌 間 1435mm(国際標準軌・予定)
- (5) その他 ハノイ市中心側から Hoa Lac に向かい、数期に分けて順次延長開業の予定

2．サイゴン・インベスト・グループの概要

- (1) 名 称 サイゴン・インベスト・グループ
- (2) 中核企業 キンバック都市開発株式会社、サイゴン通信技術株式会社、サイゴンクイニョン鉱山株式会社、ナムベト銀行、ウェスタン銀行
- (3) 代 表 者 会長 ダン・タイン・タム氏
- (4) 事業概要 不動産業、通信事業、金融業、資源・鉱山開発、製造・建築業、旅行・教育事業
- (5) 総 資 産 約2,500億円

3．キンバック都市開発株式会社の概要

- (1) 商 号 キンバック都市開発株式会社
- (2) 所 在 地 ベトナム社会主義共和国バクニン省
- (3) 代 表 者 会長・最高経営責任者 ダン・タイン・タム氏
- (4) 事業概要 不動産業(工業団地、宅地等の開発・投資)
- (5) 資 本 金 約168億円
- (6) 営業収益 約42億円
- (7) 株式上場 ホーチミン証券取引所上場
- (8) 設立年月日 2002年

以 上